

科目名	真言密教講読演習 J	学 期	後期	単 位 数	2	担 当 者	浜畠圭吾
副題	地蔵説話の世界						
ナンバリング	M3-04-300	授業方法	講義	実務経験の有無	無	関連DP	1, 4

授業の目的と概要

地蔵菩薩は私たちに身近な存在である。辻や墓地でその姿を見るだけでなく、「かさじぞう」などの童話でも親しまれている。そうした地蔵菩薩が古典文学作品の中でどのように描かれているのか、いくつかの作品をとりあげて考える。その構成や表現、特徴について学ぶ。

授業の到達目標

地蔵説話の構成や表現、特徴を説明することができるようになる。

授業計画

1. ガイダンスー講義の進め方ー
2. 地蔵信仰概観
3. 地蔵説話を読む—宇治拾遺物語①—
4. 地蔵説話を読む—宇治拾遺物語②—
5. 地蔵説話を読む—沙石集①—
6. 地蔵説話を読む—沙石集②—
7. 地蔵説話を読む—沙石集③—
8. 地蔵説話を読む—沙石集④—
9. 地蔵説話を読む—太平記—
10. 地蔵説話を読む—壬生寺縁起とその周辺—
11. 地蔵説話を読む—かるかや①—
12. 地蔵説話を読む—かるかや②—
13. 地蔵説話を読む—かるかや③—
14. 地蔵説話を読む—かるかや④—
15. 地蔵説話を読む—かるかや⑤、まとめ—

準備学習（予習・復習）・時間

事前学修として次回の範囲の参考文献を読み（60分）、事後学修として、講義内容をまとめておくこと（90分）。

テキスト

講義資料を配付。

参考書・参考資料等

速水侑『地蔵信仰』（壇新書49）その他は講義中に適宜紹介する。

学生に対する評価

レポート（50%）、リアクションペーパー（50%）

ルーブリック（目標に準拠した評価）

- (C) 地蔵信仰の基本的な事柄を理解している。
 (B) 地蔵説話の構成や表現を理解している。
 (A) それぞれの地蔵説話の特徴を述べることができる。
 (S) 寺蔵説話の特徴からその成立背景について論じることができる。

課題に対するフィードバックの方法

毎回のリアクションペーパーに、次回講義冒頭で答え、学びの連続性を確保する。

その他

私語厳禁。講義時の疑問等についてはリアクションペーパーを活用して欲しい。積極的な姿勢を求める。

実務経験のある教員が行う授業内容（どのような経験を持ち、どのような授業内容か）